



たいじゅ もり
大樹の森

2月号

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/fudomaru/>

「3つの木」から大樹の森へ

校長 山下 謙一郎

校内を見渡しながらか歩いていると、子どもたちが作った様々な作品や掲示物が目に入ります。図工の絵画であったり、国語の学習で取り組んだ俳句や短歌であったりと、素朴な個性あふれる作品は自然と頬を緩ませます。これらの作品には、子どもたちの無限大の可能性がいっぱい詰まっているのだろうなといつも感じます。

さて、そんな掲示物の中で一際大きなものが、児童昇降口に掲示されています。「あいさつの木」「思いやりの木」「きりかえの木」の3つの木です。これらの木はスマイル運営委員会が中心になり、今年度の本校で子どもたちががんばりたいと取り組んでいる児童会活動です。柱には3つの木の幹が形づくられ、上部のガラス窓には、各クラスでこの3つの木にふさわしい取組ができたときに、葉っぱとなって貼られて増えていきます。



1枚1枚の葉っぱには、クラスの中でがんばっている様子が伝わる言葉がたくさん書かれています。「あいさつ」や「思いやり」「きりかえ」の取組は、形にして残すのは難しいかもしれませんが、こうして掲示物にしてみると、これだけたくさんの子どもの頑張っている姿があるのだなと改めて感じさせられます。

こうした子どもたちから発信される取組を私たちは大切に支援しています。学校生活で頑張っている子どもたちやクラス、学年があることを全学年の子どもたちが目にする事で、さらに取組が広がっていき、温かい学校がつくられていくのだと感じます。3つの木がさらに大きくなり、この昇降口を埋め尽くすことで「大樹の森」が育っていくのでしょう。この「大樹の森」のタイトルも、昨年度、子どもたちが熱心に話し合っ決めてものでした。子どもたちが生き生きと学び、活動できる学校づくりをこれからも進めていきたいと思ひます。これからもご協力の程よろしくお願ひします。